

子供の「生きる力」獲得・向上のための教師力の獲得・向上



【千葉キャンパス】健康医療スポーツ学部 柔道整復学科 教授

佐瀬 一生 Sase Kazuo

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード : 教員研修・授業経営・学級経営・教科教育 (社会・生活・総合・道徳)



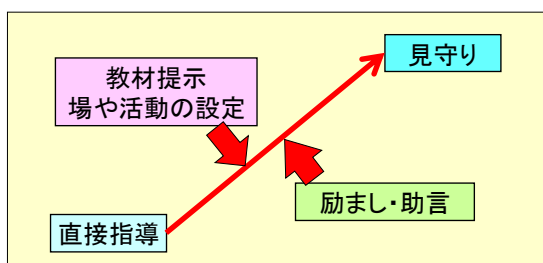
研究の概要

SDGs 目標 4 : 質の高い教育をみんなに

小学校教員 (担任・管理職)・教育行政・大学教員 (交流人事) と、様々な立場で学校教育に関わった 38 年間を経て、本学に勤務している。この過程で、前半期は授業実践・学級経営を軸にした教育実践に研究の中心があった。後半期そして現在は、子供達のよりよい成長につなげるための教師の力 (教師力)、特に、授業実践 (授業経営) と学級経営を両輪とした教師力について、教員養成と教員研修の両方にわたる獲得・向上を研究の中心としている。

I C T 活用の推進などに伴い、教育方法は大きく変容してきている。しかし「やり方」は変われど「あり方」は不易の部分に係るものである。例えば図に示した「指導のベクトル」である。授業にしても「あり方」と「やり方」の関係を踏まえた構造的かつ効果的なものであることが重要である。学生や教師が目先の「やり方」に振り回されず、地に足をつけて自身の力を高める方策を提示したい。

その一例が「授業力の見える化」DVD である。「授業の達人」の「日常の授業」における様々なポイントを「見える化」して示した教員研修 DVD を作成した。現在も大学での授業や教員研修で活用している。このような具体的で活用しやすい「モノ」の作成等も進めていきたいと考える。



【指導の大きなベクトル】



【「授業力の見える化」DVD】

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

本来、教師力は長い時間をかけて日々の教育実践を軸にして育つもので、短期間の促成栽培はできない。しかし「多忙な学校現場」「教採倍率の低下」など、学校教育を巡る状況は非常に厳しい。その中でも更なる教育改革が求められ、I C T 活用等の教育方法への対応なども伴い、教員の資質・能力の獲得・向上がなお一層、大きな課題となっている。教員研修も「研修疲れ」が叫ばれる中で大きな改革が必要とされている。だからこそ、学生や教員が自己理解をした上で明確な目標やねらいを持ち、それこそ「主体的・対話的で深い学び」をしながら効果的・効率的に獲得していくことが重要である。その流れの上での研修プログラムや資料・教材等の作成・提示を進めていけたらと考えている。

知的財産・論文・学術発表など (詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください)

- ・「授業力の『見える化』～千葉発：達人の授業に学ぶ～」
- ・「大学における教員志望学生を対象とした『実践的教師力育成プログラム』の開発」
- ・「教員としてのホップ・ステップ～磨こう 授業力・学級経営力～」